

保護者ならびに関係者の皆様

藤沢市立長後中学校
校長 平林 隆行

2023年度 藤沢市立長後中学校 学校評価の結果と次年度に向けて

早春の候、保護者ならびに関係者のみなさまには、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、学校評価につきましては、お忙しい中ご協力いただき感謝申し上げます。今年度もインターネットでの回答を実施し、回答率70%で多くの保護者の方にご回答をいただきました。また、学校評価の結果を受け、学校関係者評価委員会を開催し、教職員とは異なる立場の方々の視点からのご意見をいただきました。

本校としてもこの結果を真摯に受け止め、より良い学校づくりを目指して組織的・継続的な改善を図っていきたいと考えています。今後ともご支援のほどよろしくお願いいたします。

1 生徒全体集計

A 肯定的な回答（そう思う・やや思う）が高い項目

- ⑥ 先生は、基礎・基本がわかるように授業をしてくれる (96.5%)
- ⑦ 先生は、思いやりや助け合うことの大切さを教えてくれる (95.5%)
- ② 先生は、チームになって色々なことを教えてくれる (95.2%)
- ⑧ 先生は、最後まであきらめないで取り組むことを教えてくれる (95.2%)
- ① あなたは、学校で自ら進んで授業、行事、部活動等に参加している (94.2%)

B 経年変化

経年変化では、ほとんどの項目で肯定的な回答が高くなっている。今後も学校教育目標の具現化に向け、一人ひとりの生徒に基づいた学習指導の工夫・改善、一人ひとりの生徒に対する丁寧な指導・支援の充実を図っていく。

C 考察

すべての項目において、肯定的な回答が8割以上と非常に高く、それは落ち着いた学校生活を送れていることの表れであるといえる。

特に上述の「⑦先生は、思いやりや助け合うことの大切さを教えてくれる」についてと「⑨先生は、楽しく、よく分かる授業をしてくれる」については、肯定的な回答が昨年度より大幅に増えた。⑨は一昨年度と比べてやや下がってしまった項目だったので、今年度意識して取り組んだ成果が現れていると言えよう。

学校全体でいじめのない学校に向けて取り組んでいるが、それに対して「⑬学校は、いじめや暴力のない学校づくりに努力している」に対する肯定的な回答は87.4%である。この回答は昨年度と比べてやや下がっている。学校の活動がコロナ禍より以前に戻ってきたことによって人間関係にまつわるトラブルも増えてきたからということであろう。いずれにせよ、今まで以上によく観察し、生徒の小さな変化に気付いて相談にのれる体制を整えたい。

2 保護者全体集計

A 肯定的な回答（そう思う・やや思う）が高い項目

- ⑤ 学校は、美化活動をすすめ、きれいである（95.8%）
- ⑥ 学校は、教育環境の整備に努め安全である（92.2%）
- ④ 教職員は、協力して教育活動をしている（89.7%）
- ① 学校は、教育目標や努力点をわかりやすく伝えている（87.8%）
- ⑨ 先生方は、子どもたちが基礎・基本が身につくような授業をしている（85.4%）

B 経年変化

新型コロナウイルス感染症が5類に移行した今年度は様々な日常生活を急速に戻していく年となった。生徒の行事もそうだが、保護者の参観も復活したことで、実際の学校での様子を披露できる機会が増えた。喜ばしい。今後もできるだけ情報を公開し、保護者や地域と協力して子どもたちを育てていきたい。

C 考察

本校の環境整備・美化活動への肯定的回答が非常に高く、構内の清掃活動を評価していただいたと言える。古い校舎ではあるが、空調・換気設備が整ったので、安心して授業が受けられるようになっている。今後も環境の整備に努めていきたい。

授業については「⑨先生方は、子どもたちが基礎・基本が身につくような授業をしている」について85.4%の肯定的な回答が得られたのに対し、「⑧・子どもたちが自ら考え、意欲的に取り組めるような授業をしている」については、肯定的な回答が昨年度と比べてやや下がっている。自ら考え、学ぶ機会をより多く取り入れる授業が今後の課題である。

3 保護者自由記述より

プラスの評価として「総合的な学習の時間でSDGsについて熱心に取り組んでおり、私達大人にとっても勉強になっている。」「集団生活の中で子供達の成長を学級通信を通して知らせてくれたり、長所を認めてくれる事や短所に向き合って親と共にスモールステップで改善できるよう見守っていただける事に、安心感と信頼感を感じさせてもらっています。」「縦割りの体育祭は、生徒の交流や参加意欲を高めていてよいと思いました。」などのご意見をいただきました。大変にありがたいことです。小規模校であるので、授業や部活動で接していない生徒のことも目に入り耳にとまる機会が多くあります。小さな学校ならではの利点を生かし、一人ひとりの生徒を様々な大人の目で見守って褒め伸ばしていきたいと考えています。

改善した方がよいと思われる点については「まだ一方的な受け身の授業スタイルだと感じました。」「部活動の時間や活動の仕方について、改善していただきたい。」「威圧的で従わせたい先生が多いように感じます。言っても聞かない子供に上からものを言っても、聞かないで反発するだけです。」などがありました。真摯にうけとめて改善していきたいと考えています。

4 学校関係者評価委員会より

学校関係者評価委員会では、今回の学校評価の結果について、学校評議員の方、PTA本部役員の方々からご意見をいただきました。

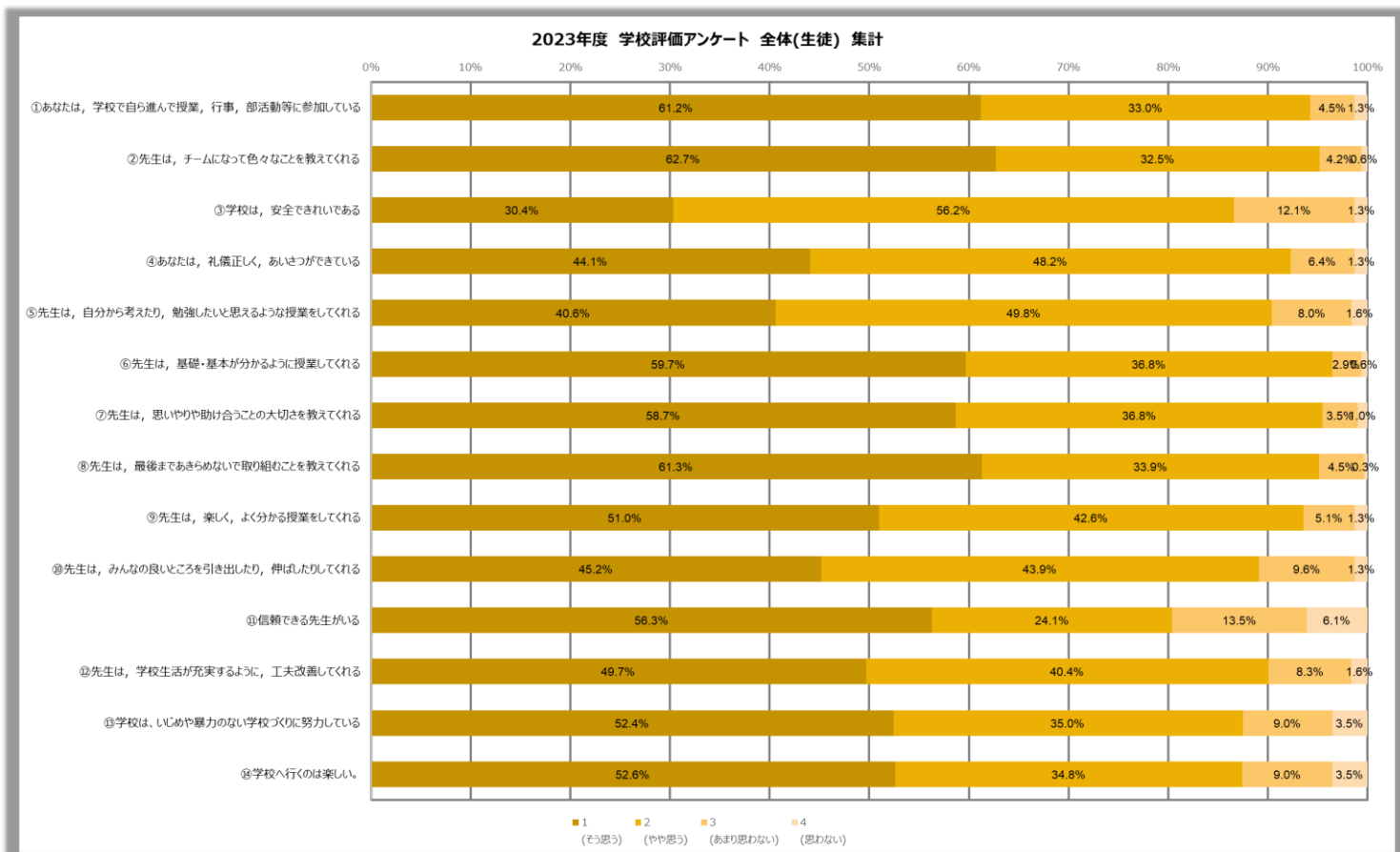
- ・ 学校の中のことは家で話題にならないとわからない。だから自由記述欄に書かれている「『わからない』という選択肢が欲しい」という気持ちはよくわかる。
- ・ 1年生の保護者は特に中学校の情報が少ないので不安になる。親同士のつながりも薄くなっているのでは、不満や不安をぶつけるところがない。
- ・ 子どもを叱った時に、別の教員がフォローするような教員同士の連携が必要なのではないか。
- ・ 職員の中から学校をより良くしていくための意見が出ることは貴重だ。弱い部分を来年度改善して行ってほしい。
- ・ 来校者に対する挨拶が少なくなっていると感じる。
- ・ 「校則が厳しい」という意見があったが、昔と比べるとずっと緩くなっている。少しずつ現代に合わせて改善していけばよい。
- ・ 合唱コンクールが市外では実施しづらい理由など、理由を知れば納得できることは多い。

5 次年度に向けて

新型コロナウイルス感染症が5類になり、学校行事が以前のように行われることになりました。一つの事柄に、あい対してではなく、生徒と一緒に並んで立ちあえる経験を得られるというのは私たちにとっても大きな喜びです。それと同時にそのような機会が数少なかつたために戸惑っている生徒も少なからずいるようです。「共に、学び・考え・行動する生徒」の姿を目指して来年度も努力していきたいと考えています。

学校評価でいただいた貴重なご意見を参考にしながら学校経営方針における学校像の具現化に向けて、引き続き努力して参ります。今後とも本校の教育活動にご理解とご協力を賜りますよう、お願いいたします。

2023年度 学校評価アンケート【生徒全体】



2023年度 学校評価アンケート【保護者全体】

